

重要通知

令和2年10月27日

所属長

各位

教職員

学長 吉田 謙一郎

新型コロナウイルスへの対応について（第6報）

教職員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染防止にお取り組みいただき
ており深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染は一向に収束の兆しが見られず、これから冬を迎えると
季節性インフルエンザ流行と同時に新型コロナウイルス感染のさらなる拡大が危惧されま
す。

そこで、本学教職員、学生などから感染が発生することのないよう、業務中はもとより
業務外での生活においても感染防止に努めることが大切であります。

つきましては、下記に基づいて皆様一人ひとりが感染防止に心がけた行動をとり、業務
に支障を来すことのないようご協力くださるようお願いいたします。

記

1. 会議・研修会等

委員長や主催者が必要と認めるものについて、感染予防に留意して実施。

なお、会議・研修会等の参加は妨げないが、それに付随する飲食は自粛する。

2. 出張・学外業務

「3密」を回避できる場合のみ、感染予防に留意して実施。

業務に付随する飲食は自粛する。

3. 海外渡航

全面自粛。（ただし、やむを得ない事情により渡航が必要な場合は大学に届出る）

4. フレックス休暇等を用いての移動（帰省や国内旅行）

「3密」を回避し、飛沫・接触感染対策に充分留意した上で行動する。

5. 行動全般における注意事項

- ・過去2週間の行動履歴が不明な人との接触や会食はなるべく控える。
- ・「新しい生活様式」の実践が難しい施設への立ち入りや利用は避ける。
- ・会食等を計画する場合は、各部署の機能を損なうことのないよう配慮する。
- ・体調が優れないときは、無理な移動や会食は行わない。

- ・帰宅後などに、体調不良を生じたら、自宅待機し上司に報告する。
- ・行程（日程、訪問先、目的、交通手段等）を記録しておく。（公私を問わず）
また、学会・研修会等については参加人数も把握しておく。

6. 体調管理・健康観察について

引き続き、「新しい生活様式」による感染予防策、体調管理及び健康観察を行ってください。なお、発熱などの風邪の症状があるときは、出勤を控え自宅療養してください。万一、感染あるいはその疑いと診断された場合、主治医の指示に従い出勤はせず、速やかに所属長及び担当窓口へ報告してください。

7. 「新しい生活様式」の実践例

下記の例を参考に、それぞれの生活に合った「新しい生活様式」を実践してください。

「新しい生活様式」の実践例

（1）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。
 - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
 - 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

（2）日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** □咳エチケットの徹底
- こまめに換気 □身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅療養



（3）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（4）働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □時差通勤でゆったりと □オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成



QRコード